



健やか豆知識 第34回



Q. 子どもの風邪の初期対応として正しいのは次のうちどれでしょうか?

- I 子どもを病院に連れて行き、抗生物質をもらう
- II 子どもをゆっくり休ませて、飲食、睡眠がとれるか様子を見る
- III 1年前に風邪症状で処方してもらった薬の残りを子どもに飲ませる

高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —
高田製薬株式会社

ウイルスに抗生物質は効きません

子どもの感染症のほとんどを、風邪(上気道感染)とおなかの風邪(急性胃腸炎)の2つが占めています。これらの風邪では発熱、鼻水や咳などの呼吸器症状、下痢や嘔吐などの消化器症状などが起こりますが、大体3日間くらいで症状のピークを越えて、1週間ぐらいかけて回復していきます。そのため、お子さんが風邪をひいた場合は、まずはゆっくりと休ませてあげて、飲み物や食べ物をとることができるか、眠れているかなどの様子をみてあげましょう。もしお子さんが飲食や睡眠がとれない場合、ぐったりしている場合には、一度医療機関を受診するようにしましょう。

お子さんの風邪で医療機関を受診した際、医師に「抗生物質を出してください」とお願いすることはありませんか?子どもの風邪は、ほとんどがウイルスによるものです。風邪の原因としては、インフルエンザウイルスやRSウイルス、おなかの風邪の原因としてはノロウイルスなどがよく知られています。しかし、ウイルスに抗生物質は効きません。抗生物質は細菌(ウイルスと大きさや中身が異なる)を退治するための薬で、細菌が原因となった咽頭炎や中耳炎、そして肺炎等と診断され、治療に必要と判断されたときに処方されます。

受診した医療機関で抗生物質を処方された場合は、医師の指示に従い、服用回数・期間を守り、お子さんにきちんと最後まで飲ませてください。「もう子どもが元気だから」と判断して、途中で抗生物質の服用をやめしまうと、症状がぶり返したり、お子さんのからだの中で抗生物質が効きにくい細菌(薬剤耐性菌)が生き残ってしまい、将来的にその抗生物質が効きにくくなる恐れがあります。医師は、その時の子どもの症状や体重から、都度、その子に合った薬を処方します。以前と同じ症状だからといって残っている薬を使うと、悪さをしている細菌を退治する薬でなかったり、成長に伴い体重が増え、以前の薬の量では足りなかったりすることがあるので、残しておいた手元の薬を服用することは基本的にやめましょう。

感染症にかからないために、日頃からの手洗いうがいや規則正しい生活を心がけ、小児ワクチンも推奨期間内に接種できるとよいですね。薬は、抗生物質に限らず、用法用量を守り、正しく服用するようにしましょう。

監修 松崎 寛司

独立行政法人
国立病院機構福岡病院小児科 医師

さらに詳しい情報は
ホームページで!



< 正解 II 子どもをゆっくり休ませて、飲食、睡眠がとれるか様子を見る >

クイズの解説

風邪の症状がみられたら、まずは子どもをゆっくりと休ませて、様子を見てあげましょう。

子どもの感染症のほとんどを「風邪(上気道感染)」と「おなかの風邪(急性胃腸炎)」の2つが占めています。これらの風邪では発熱、鼻水や咳などの呼吸器症状、下痢や嘔吐などの消化器症状などが起こります。感染症にかからないために、日頃からの手洗いうがいや規則正しい生活を心がけましょう。

■クイズ回答 I 子どもを病院に連れて行き、抗生物質をもらう 【X】

子どもの風邪のほとんどはウイルスによるものです。風邪(インフルエンザウイルス、RSウイルスなど)やおなかの風邪(ノロウイルスなど)の原因となるウイルスに抗生物質(抗菌薬)は効かないため、風邪症状で受診した際に、必ずしも抗生物質が処方されるわけではありません。抗生物質は細菌(ウイルスと大きさや中身が異なる)を退治するための薬で、細菌が原因となった咽頭炎や中耳炎、そして肺炎等と診断され、治療に必要と判断されたときに処方されます。処方された薬は、用法用量を守り、正しく服用するようにしましょう。(右図: 薬剤耐性について)

■クイズ回答 II 子どもをゆっくり休ませて、飲食、睡眠がとれるか様子を見る 【O】

子どもが風邪にかかったと思ったら、まずはゆっくり休ませて、飲み物や食べ物をとることができるか、眠れているか、様子を見てあげましょう。大体3日間くらいで症状のピークを越えて、1週間ぐらいかけて回復していきます。その経過から外れる場合や子どもがぐったりしている、のどの痛みや嘔吐などで飲食ができない、つらい症状で眠れないといった場合は医療機関へ受診してください。とくに生後90日未満の乳児の発熱や、子どもの呼吸が苦しそうな場合は早めに受診しましょう。

■クイズ回答 III 1年前に風邪症状で処方してもらった薬の残りを子どもに飲ませる 【X】

子どもが再び同じ症状の風邪にかかったとしても、前回処方され、残っていた手元の薬を飲ませることはやめましょう。前回と同じ症状でも、今回も同じ原因であるとは限りません。また、薬は子どもの体重に合わせて処方量が決まります。子どもは成長し、体重も増えているはずですので、以前の受診で処方された薬の量では足りない場合があります。

薬剤耐性について

【薬剤耐性とは】

抗生物質の効かない細菌(薬剤耐性菌)が、からだの中で生き残って増えてしまい、抗生物質を飲んでも効きにくくなる現象のことをいいます。

薬剤耐性菌を増やさないために以下のことをしっかり守りましょう。

- 抗生物質は医師の指示通りに、最後までしっかり飲みきる。
- 以前処方されて残っている抗生物質は使用しない。

(参考)

- ・AMR臨床リファレンスセンター
<http://amrcrc.ncgm.go.jp/020/010/index.html>
- ・AMRクリニカルリファレンスセンター(厚生労働省委託事業)
<http://amr.ncgm.go.jp/general/>